

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚学院公務員法律大学校
設置者名	学校法人尚学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ○公務員・法律本科(4年制) 中央大学法学部通信教育課程の併修科目修得(本校の授業科目を一部単位互換)を目指し、法律科目を講義・メディア授業(オンデマンド又はリアルタイム)・スクーリングにて単位取得。また、公務員試験対策では知識の整理及び問題演習を行う。 ○国際・教養本科(2年制) ・日本語教師やIT実務経験者などによる実務に直結した学習内容を用意する。 ・ITパスポート、TOEIC、日本語能力検定試験等、各種検定の受験機会を設ける。	
授業計画書の公表方法	https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ○公務員・法律本科(4年制) 出席率、課題・レポートの内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度、試験の結果などを総合的に判断し、各学期終了時に評価し、評価は次のとおりとする。秀…90～100点、優…80～89点、良…70～79点、可…60～69点、不可…59点以下。なお、学期途中において休学、退学した場合、その学期の成績は評価しない。 ○国際・教養本科 ・出席率ならびに授業態度、検定試験結果、提出物等を基準に評価する。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校ではGPA制度を成績評価の指標として取り入れています。このGPA制度は、進級・卒業のための学習計画を立て、卒業後の進路目標に近づくためにどのようなことを続けていけばよいのか、何が足りないのか、何が必要なのか、自分を見据えた上で課題を見つけ活用することをねらいとしています。GPA値は以下の式で算出されます。ただし、GPA値は四捨五入して、表記は小数点第1位までとします。

$$GPA = \frac{\{(\text{修得科目の単位数}) \times (\text{取得科目のGP})\} \text{の総和}}{\text{総履修登録単位数}}$$

実点	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下
成績評価	秀	優	良	可	不可
GPA	4	3	2	1	0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

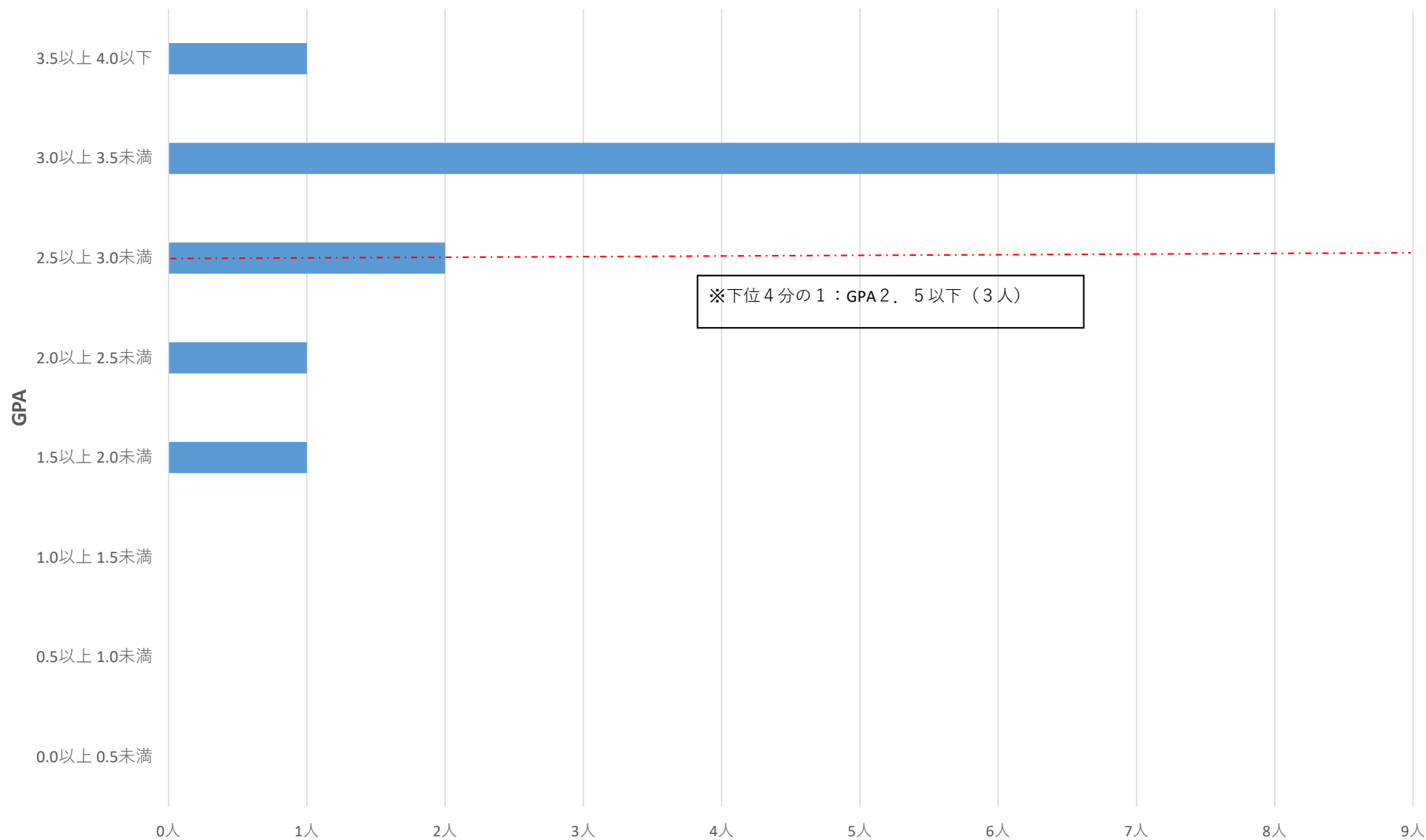
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- 公務員・法律本科（4年制）（以下の全ての条件を満たすこと）
 - ・出席基準・・・履修時間3400単位時間以上（高度専門士）
 - ・検定基準・・・3級以上の検定を3つ取得（HSK中国語検定は2級）
 - ・単位基準・・・公務員採用試験対策授業科目を全科目単位取得
- 国際・教養本科（2年制）
 - ・出席基準・・・履修時間1700単位時間以上、出席率80%以上
 - ・検定基準・・・検定を2つ以上取得

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclos>

2024年度公務員・法律本科GPA度数分布



2024年度国際教養本科GPA度数分布

